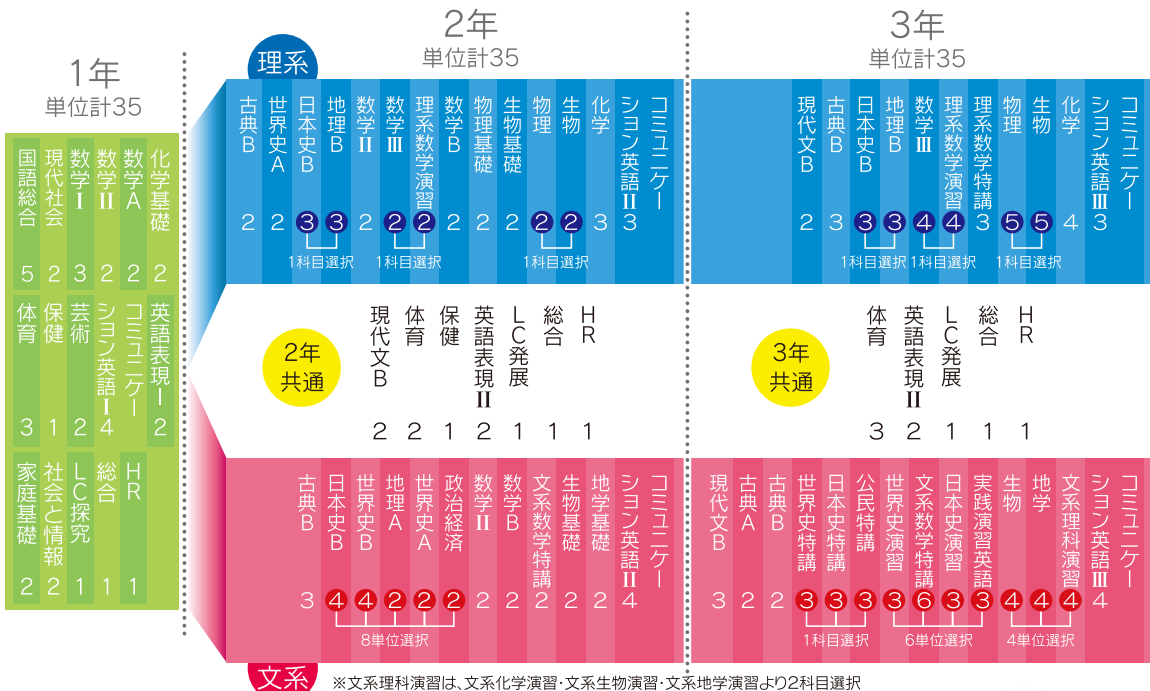




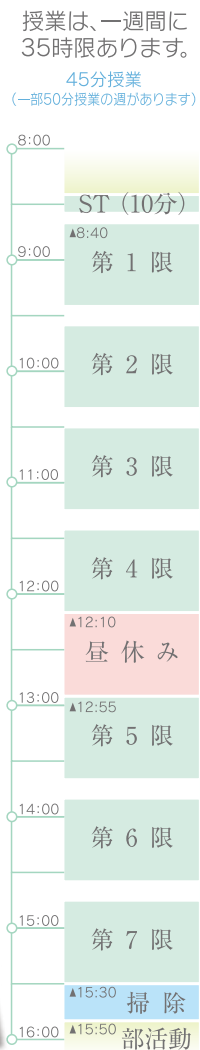
未来の夢に 着実に近づく、充実のカリキュラム。

金沢錦丘高校では一人ひとりの夢の実現を目指し、充実したカリキュラムと細かな体制で強力にサポートしています。
2年生より希望に応じた選択コースに分かれ、未来を切り開く学力を伸ばしていきます。

教育課程 (令和3年度入学生用)



日課表



現代社会で生きるためには次のような力が必要です。

- 相手の意見を聞いて理解する力
- 自分の考えを自分の言葉で表現する力
- 自分の考えを世界に発信する力

さらに、国際社会の中で私たちには外国人の人々と対等に意見できる英語力やプレゼンテーション能力が求められています。これらの力を育てるために「LC探究・発展」の授業があります。授業では地域社会や国際社会が抱える諸問題を題材にして幅広い視野で考え、自分の意見を表現します。授業の構成は少人数のクラスでALTの先生と一緒に進めていきます。英語を聴き、考え、互いに議論しあい、発表する機会が多くあります。この授業を通して英語での発信力を鍛えます。

学校設定科目
LC探究・発展
(LC:ロジカルコミュニケーション)

金沢錦丘高等学校を志望している皆様へのメッセージ Message!



1980年 卒業
京都大学教授
森 直樹 氏

錦丘高等学校を受験する中学生の皆さんにメッセージをお送りすることになりました。
君たちにエールを送るべく、私が専門とする食料生産に関わる近未来の問題を紹介します。君たちなりに考えてみましょう。

2050年には世界の人口は98億人を超えると予想されています。単に人口が増えるだけではありません。新興国の人々の生活が豊かになり牛肉食が増えると、畜産物の生産に要する穀物量も増加します。実は、鶏肉1kgを生産するのに必要な穀物量(トウモロコシ換算)は4kgですが、

豚肉では7kg、牛肉では11kgが必要です。この理由から、2050年までに世界の食料生産を2倍に増やす必要があります。森林の伐採・原野の耕地化は、食料生産の持続性を奪うので、簡単に農地は拡大できません。したがって、今ある農地の生産性を高めるしかないのです。地球環境に負担を掛けず、十分な食料を確保できるのでしょうか?

一方、日本に目を向けてみましょう。現在の農業就業者の平均年齢は66.7歳(平成29年)です。10年後、20年後、その方々の年齢は76.7歳、86.7歳になります。近い将来、君たちの胃袋、あるいは君たちの子供の胃袋を満たしてくれるのは誰なのでしょう?

少し難しい話しをしたかも知れませんが、私は、君たちの意識を金沢市や石川県ではなく、日本や世界(もしかしたら、宇宙のレベル?)まで高めて欲しかったのです。もし君たちの中で何人かがこの話しを読んで刺激を感じてくれたなら、私の意図は成功です。期待しています!